

議会

だより

119

6月定例議会号

令和元年8月

発行 佐呂間町議会



今年で最後のオホーツクサイクリング（若里） 令和元年7月13日撮影

6月第2回定例会

- ・審議した議案 2P～4P
- ・町長行政報告 5P
- ・一般質問「今後の町道の整備について」など 6P～7P

議会懇談会 8P～11P 4月第1回臨時会 12P

議会ニュース 「常任委員会現地調査」など 13P～15P

みんなの笑顔で町を元気に！ / 議員のひと言 16P



さろま

あなたと町議会を結ぶ情報誌

町議会URL <https://www.town.saroma.hokkaido.jp/gikai/>

第2回定例会

・審議した議案②



森林の整備のために使われる森林環境譲与税基金

策の一層の推進を図るため、町の商工行政における小規模企業振興の位置づけを明確にするとともに、商工会による小規模企業の事業運営に対する協力・支援を明確にした、小規模企業振興基本条例を制定しました。

■森林環境譲与税基金条例の制定

「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」の施行に基づき本年度から交付される森林環境譲与税を、森林整備など法令に定められた事業の財源として積み立て、管理を行うための基金を設置しました。

- ①課税限度額の引き上げ
 - ・基礎課税分 61万円 (3万円増)
 - ②軽減措置の所得判定基準の引き上げ
 - ・5割軽減 28万円 (5千円増)
 - ・2割軽減 51万円 (1万円増)
- ③保険料率の改正
 - 税率軽減のため行っている一般会計からの繰入金を解消し、北海道が示す標準保険料率に近づけるため、課税方式を4方式から3方

■漁村環境改善総合センターの設置及び管理に関する条例の廃止
漁村環境改善総合センターを令和元年7月1日付けで、佐呂間漁業協同組合に無償譲渡することから、同日付で設置及び管理に関する条例を廃止するものです。

- 総合介護条例の一部改正
平成27年4月から実施されている低所得者の保険料軽減対策が、消費税率10%への引上げに合わせて強化されることを受け、総合介護条例の一部を改正するものです。
- ①保険料軽減の強化
 - ・保険料区分第一段階 基準額×0.375 (0.075減)
 - ・保険料区分第二段階 基準額×0.500 (0.125減)
 - ・保険料区分第三段階 基準額×0.725 (0.025減)

その他

- 北海道市町村総合事務組合規約の変更
- 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更
- 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更
町が加入している各組合において、加入団体の解散・脱退に伴い規約の変更が必要になったものです。

■過疎地域自立促進市町村計画の変更

本年度、過疎債の借入を計画している事業を追加するため計画を変更しました。
追加する事業は浜佐呂間漁港修築事業、キムアネツプキャンプ場整備事業、建設機械購入事業(除雪機械等)、公共施設解体事業、広域医療維持助成事業の5件です。



第2回定例会

・審議した議案①

第2回定例会が6月18日から19日の間で開催され、議案15件、同意1件、報告1件、意見書2件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

消費税率引上げに対する低所得者・子育て世帯支援のため プレミアム付商品券発行事業予算を補正 サンガーデンさろま赤字補填のため 739万円を計上

審議した議案

予算

- 令和元年度一般会計補正予算(第1号)
 - 684万円が追加され予算の総額が49億3903万円になりました。
- 【主な歳入】
 - ・森林環境譲与税 454万円
 - ・学校施設環境改善交付金 ▲875万円
 - ・プレミアム付商品券事務費補助金 313万円
 - ・プレミアム付商品券事業費補助金 600万円
 - ・子ども子育て支援事業費補助金 252万円

- 【主な歳出】
 - ・財政調整基金繰入金 ▲300万円
 - ・北海道市町村振興協会助成金 154万円
 - ・北海道自治体情報システム協議会負担金 425万円
 - ・森林環境譲与税基金積立金 454万円
 - ・サンガーデンさろまデイサービス事業運営費補助金 739万円
 - ・子育て世帯等プレミアム付商品券発行事業委託料 101万円
 - ・子育て世帯等プレミアム付商品券発行事業費補助金 600万円
 - ・災害対策に要する経費 消耗品費 64万円



消費税増税対策として発行される商品券 (イメージ図)

- ・備品購入費 65万円
- ・佐呂間小学校煙突改修工事 ▲279.5万円
- ・スキー場索道設備等塗装工事 118万円
- ・公共下水道特別会計繰入金 524万円

■令和元年度公共下水道特別会計補正予算(第1号)
524万円が追加され、予算の総額が2億3056万円になりました。

- 【主な歳入】
 - ・一般会計繰入金 524万円
- 【主な歳出】
 - ・修繕料 524万円

■令和元年度介護保険特別会計補正予算(第1号)
78万円が追加され、予算の総額が5億2699万円になりました。

- 【主な歳入】
 - ・事務費繰入金 78万円
- 【主な歳出】
 - ・北海道自治体情報システム協議会負担金 78万円

条例

■小規模企業振興基本条例の制定
町による小規模企業振興施

第2回定例会

第2回定例会

・町長行政報告

・審議した議案③

町長行政報告 (要旨)

■農作物の生育状況

雪解けが遅かったものの好天に恵まれ、春巻き小麦、ピート、メントコーンなどの播種作業は順調に進みました。

5月20日からの暴風により一部のビートに影響を受けましたが大きな被害は無く、さらには5月の観測史上最高となる39.5度を記録した猛暑日など、暑い日が続きましたが心配されましたが、総じて農作物の育成も良く、今後安定した天候を願うところであます。

牧草の草丈も昨年並みに生育しており、サイレージと乾草収穫作業が開始されていると報告を受けております。

■町営牧場の入牧状況

5月17日と18日に入牧が行われ、6月3日現在3箇所に乳牛504頭が放牧されております。



■漁業の状況

外海へのほたて稚貝放流が5月15日から25日までのうち、8日間の日程で終了し、7963万粒を予定通り放流したとの報告を受けております。

ほたて稚貝採苗については、オホーツク海及びサロマ湖内の水温が昨年よりやや高く推移し、ラーバの出現が早く見られたため、5月14日から採苗器の投入が始まり順調に推移しており、今後は状況を見守りながら付着状況調査を行ってまいります。

■公共事業の執行状況

本年度、計画しております主な工事と委託の事業件数につきましては、39件で事業費の総額は5億7700万円を予定しております。

現在までの発注状況は22件で2億1800万円であり、発注率は件数で56%、金額では38%となっております。

第3回定例会は9月に開催されます!!

日程の詳細は、町広報9月号の折込みチラシをご覧ください。



漁組へ無償譲渡される漁村環境改善総合センター

■財産の無償譲渡
富武士地区住民の集会施設として利用されている漁村環境改善総合センターについて、地域住民の利便性の向上を図るため、佐呂間漁業協同組合へ本年の7月1日付けで無償譲渡するものです。

- ①譲渡する財産
漁村環境改善総合センター
613・38㎡
- ②譲渡の目的
地域住民の利用促進
- ③譲渡の相手方
佐呂間漁業協同組合
代表理事組合長 阿部 與志輝

■財産の取得
町職員が事務に使用するパソコンを次のとおり更新することになりました。

- ①取得する財産
・行政システム用パソコン 57台
・シンククライアント端末 57台
- ②取得価格
・機器の設定 108台
- ③納入期限
1436万4千円
- ④取得の方法
令和元年9月30日 随意契約
- ⑤売買の相手方
中標津郡中標津町北町2丁目22番地
中央コンピュータサービス株式会社
代表取締役 真籠 毅

■令和元年度第1回定期監査報告書
平成30年度会計の定期監査が5月10日から17日までの6日間実施され、その結果について監査委員から、適正に処理、運営されていたとの報告がありました。

同意

■農業委員の任命同意
農業委員として、次の方の任命について同意しました。
◎仁倉 平川智司 氏

報告

■繰越明許費繰越計算書
平成30年度一般会計から佐呂間小学校煙突改修工事、2804万1千円が令和元年度に繰り越しになりました。

意見書

■新たな過疎対策法の制定に関する意見書
過疎対策に関する特別措置法は昭和45年以来4次にわたる制定され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興などに成果を挙げてきました。

しかし現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効してし

まうことから、引き続き過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化していくため、新たな過疎対策法の制定を求める意見書を可決し、関係大臣宛に提出いたしました。

■日米貿易協定交渉から日本の農業・農村を守る要望意見書
日米貿易協定交渉の初会合において、過去の経済連携交渉の内容が最大限とする日米共同声明に沿って交渉することが確認されましたが、米国内ではTPPを上回る関税撤廃・削減や輸入枠拡大を求める業界団体の圧力が高まっています。

第2回定例会

・一般質問②

【質問】 近年温暖化に伴いスキー場のオープン期間が短くなり、冬期間スポーツに関わる時間が少なくなっています。最近では水泳の少年団も活発に活動しておりますし、以前道新でスターのいろいろな努力が実り、利用者が年間3万人に近づいていると報道されていましたが、健康増進の観点からも温水プールは冬期間も利用可能にしてほしいと思っておりますが考えを伺います。

また全面的な営業再開が難しいのであれば、期間を半年ではなくもう少し延長することや、職員の配置から全面再開が難しいのであれば、職員を増やすなどの改善を考えていないのか伺います。

【答弁】 スターの温水プールは経費縮減のため、平成20年度から半年間の営業となり、平成28年度の営業期間に関するアンケートでは、半年間の営業が適切という回答が全体の62%になりました。プール閉鎖期間中に、冬期間健康プログラムとして様々な事業を実施し、新たな利用者が増加につなげており、今後も現状の営業期間を維持したいと考えています。

またプール閉鎖後の11月からは、この事業の準備を行っており、現在の職員体制では営業期間の延長についても難しいと考えます。

職員の増については今後利用者が伸びていくことがあ

【質問】 児童生徒の登下校時の様子を見てみると、歩道を飛び出し横並びで歩くなど、事故につながることもあるのではと心配しています。交通事故というのは予期せぬ出来事ですが、安全な登下校についてどのような指導を行っているのか伺います。

また交通事故だけでなく事件や事故に対応するため防犯カメラの設置を考えていないか伺います。

【答弁】 **【教育長】** 小学校低学年には実際の道路や信号機を使つての歩行指

【質問】 本町では平成22年に要保護児童対策協議会を設置し、検討すべき事案が発生した時は北見児童相談所、遠軽警察署、町内小中学校など13機関で支援方法を協議しています。また虐待の通報等を受理した場合は速やかに各組織で情報を共有し、連携した支援体制を整備しています。

【答弁】 **【保健福祉課長】** 乳幼児健診等の際に、子育てに悩む母親からの相談や、虐待リスク要因を把握するためアンケート調査を行って

第2回定例会

・一般質問①

2名の議員が一般質問を行いました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

一般質問



高橋紀久 議員

今後の町道の整備について

現代の車社会に必要な不可欠なインフラの一つである道路ですが、これからの情勢を見据えた町道の整備、維持管理について数点質問します。

【質問】 現状の町道の概要について伺います。

【答弁】 **【町長】** 町道は、平成31年4月現在で281路線322kmです。舗装延長は166km、舗装を含む改良延長は207km、舗装率は52%、改良率は64%であり、全世帯の96%、2400世帯前後に接する道路が舗装整備されています。

【質問】 町道の中に、私有地を道路と認定し、町で管理しているものはあるのか伺います。

【答弁】 **【町長】** 町道は、平成31年4月現在で281路線322kmです。舗装延長は166km、舗装を含む改良延長は207km、舗装率は52%、改良率は64%であり、全世帯の96%、2400世帯前後に接する道路が舗装整備されています。

【質問】 今後の町道整備について選定基準や順番、どのような計画なのか伺います。

【答弁】 **【建設課長】** 私道で町が管理している道路はありません。

【質問】 今後の町道整備について選定基準や順番、どのような計画なのか伺います。

【答弁】 **【町長】** 長寿命化計画における点検により選定・順位を決め、道路の損傷、歩行者・車両の通行量、道路に接する住宅数などを考慮し、通り抜け可能な道路の改修を進めています。今後も砂利道を改良舗装するのではなく、損傷が著しい既設舗装道路の2次、3次改修が急務と考え、整備計画を検討しています。

今後の町道整備の選定基準や順番はどのような計画なのか

町長：町道の長寿命化計画に基づき既存舗装道路の改修を行っていく

【質問】 道路の側溝など町道附帯の雨水排水処理設備の今後の維持管理における計画について伺います。

【答弁】 **【建設課長】** 土木係が定期的に巡回、もしくは町民からの報告を受けた中で、土砂などで流れが悪くなったと判断したときに対応するよう考えております。

【答弁】 **【副町長】** その他、毎年自治会要望で上がってきたものを土木係で点検に行き、必要な箇所を改良、整備しております。

【質問】 町民から利用していない町道、道路用地などの売却の申し出があった場合、どのような考えなのか伺います。

【答弁】 **【町長】** 町道及び道路用地の売却については考えておりません。

【質問】 冬期間の除雪等もあることから、ガードレールなどの設置の考えはありますか。

【答弁】 **【町長】** 冬期間の除雪等もあることから、ガードレールなどの設置の考えはあります。

【質問】 子供たちの交通事故を避けるため、スクールゾーンへの安全対策などに対してどのような考えなのか伺います。

【答弁】 **【町長】** 冬期間の除雪等もあることから、ガードレールなどの設置の考えはあります。

【質問】 冬期間の除雪等もあることから、ガードレールなどの設置の考えはありますか。

【答弁】 **【町長】** 冬期間の除雪等もあることから、ガードレールなどの設置の考えはあります。



三田真美 議員

温水プールの冬期間営業再開について

【質問】 近年温暖化に伴いスキー場のオープン期間が短くなり、冬期間スポーツに関わる時間が少なくなっています。最近では水泳の少年団も活発に活動しておりますし、以前道新でスターのいろいろな努力が実り、利用者が年間3万人に近づいていると報道されていましたが、健康増進の観点からも温水プールは冬期間も利用可能にしてほしいと思っておりますが考えを伺います。

【答弁】 スターの温水プールは経費縮減のため、平成20年度から半年間の営業となり、平成28年度の営業期間に関するアンケートでは、半年間の営業が適切という回答が全体の62%になりました。

【質問】 プール閉鎖期間中に、冬期間健康プログラムとして様々な事業を実施し、新たな利用者が増加につなげており、今後も現状の営業期間を維持したいと考えています。

【答弁】 またプール閉鎖後の11月からは、この事業の準備を行っており、現在の職員体制では営業期間の延長についても難しいと考えます。

スキー場のオープン期間が短くなった冬期間のプール営業を再開しては教育長：利用者数などを考慮し現状の営業期間を継続したい

【質問】 児童生徒の登下校時の様子を見てみると、歩道を飛び出し横並びで歩くなど、事故につながることもあるのではと心配しています。

【質問】 交通事故というのは予期せぬ出来事ですが、安全な登下校についてどのような指導を行っているのか伺います。

【答弁】 **【教育長】** 小学校低学年には実際の道路や信号機を使つての歩行指

【質問】 本町では平成22年に要保護児童対策協議会を設置し、検討すべき事案が発生した時は北見児童相談所、遠軽警察署、町内小中学校など13機関で支援方法を協議しています。

【質問】 本町では平成22年に要保護児童対策協議会を設置し、検討すべき事案が発生した時は北見児童相談所、遠軽警察署、町内小中学校など13機関で支援方法を協議しています。



(写真：仁倉会場)

〔注〕働き方改革関連法により民間企業では、本年の4月1日から年間10日以上の有給休暇が与えられる労働者に対して、使用者が時期を指定して年間5日の有給休暇を取得させることが義務化されています。

〔質問〕アベノミクスの働き方改革の中で新ルールとして、年5日の有給休暇取得義務化が出てきていますが、民間企業はその分の賃金の支払いに苦慮します。
 企業や公務員の労働時間短縮をどう考えていますか。
 〔回答〕法律で決められた条件に該当するのであれば、有給休暇となり賃金は支払われると思います。

働き方改革に伴う有給休暇
 〔質問〕アベノミクスの働き方改革の中で新ルールとして、年5日の有給休暇取得義務化が出てきていますが、民間企業はその分の賃金の支払いに苦慮します。
 企業や公務員の労働時間短縮をどう考えていますか。
 〔回答〕法律で決められた条件に該当するのであれば、有給休暇となり賃金は支払われると思います。

佐呂間町特別職報酬等審議会
 〔質問〕議員の報酬審議会はありますか。
 〔回答〕町特別職報酬等審議会が必要に応じて設置され、任命された委員によって議員や町の特別職などの報酬について審議します。



(写真：仁倉会場)

語りませんか 私たちの町のこと。

議会懇談会を開催 4月19日

平成31年4月19日に仁倉公民館及び佐呂間コミュニティセンターにおいて議会懇談会を開催し、両会場あわせて25名の町民の方に参加いただきました。

ここでは懇談会の中でいただいた、意見・要望・提言とそれに対する議員の回答を紹介いたします。
 (※紙面の都合上、意見等は要約しています。)

遠軽厚生病院への補助

〔質問〕遠軽厚生病院に遠軽町・湧別町・佐呂間町で赤字補てんをしています。佐呂間町からの利用者数は把握されていますか。
 〔回答〕国保の被保険者については受診者数を確認できませんが、社会保険などの被保険者については町で把握しきれないため、利用者数の把握はしておりません。

〔意見〕遠軽厚生病院は医者不足で診療科目が減少し、安心して利用できない現状ですが、状況の改善を厚生連に対して求めていますか。
 〔回答〕町は平成29年度に庁舎の耐震診断を行い、①現庁舎への耐震補強、②現庁舎への耐震補強と大規模改修、③移転新築について検討しましたが、財源として考えていた起債の期限が平成32年度までで、スケジュール的に無理があり先送りとなりました。

役場庁舎の建て替え

〔質問〕役場庁舎の改修・新築の話は聞いたのですが。
 〔回答〕町は平成29年度に庁舎の耐震診断を行い、①現庁舎への耐震補強、②現庁舎への耐震補強と大規模改修、③移転新築について検討しましたが、財源として考えていた起債の期限が平成32年度までで、スケジュール的に無理があり先送りとなりました。

地区集会施設に関する補助金

〔質問〕地区集会施設の補助金について90%とありますが、90%全額出るのは確かですか。
 〔回答〕地区集会施設の解体に対して、費用の90%まで上限200万円を補助します。修理等の整備事業については、費用の80%まで上限なしで補助します。

ふるさと納税の業務委託料

〔質問〕ふるさと納税の業務委託料に4700万円ほどかかっていますが、町に入る納税額はどのくらいですか。
 〔回答〕昨年度は約6500万円です。

もし補助をするにしても、そのようなことを考えて行わなければならないと思います。

ごみの最終処分場

〔質問〕平成37年度から知来のごみ捨て場が利用できないとの説明がありました。家は農業資材(ラップビニール)等をごみ捨て場に運び廃棄していますが、平成37年度からは広域の処理場へ自ら搬送しなければならぬのですか。
 〔回答〕遠軽町・湧別町・佐呂間町で広域の最終処分場を造ることになっており、大変ですがそちらへ運搬していただくこととなります。

〔質問〕3町で最終処分場を町外に造るので、皆さんそちらに運んでください。は利用者の方の何をもう考えていないのでしょうか。
 (注)町の産業廃棄物処理場は平成27年に閉鎖しており、現在産業廃棄物の受け入れを行っておりません。

〔質問〕業務委託に4700万円もかけるのであれば、2人くらい専任職員を置いて、町に残る分が多くなるのではないのでしょうか。
 〔回答〕委託することで受注・発送等の作業も迅速に行え、問題が起きた場合も業者が対応してくれそうです。

〔質問〕業務委託に4700万円もかけるのであれば、2人くらい専任職員を置いて、町に残る分が多くなるのではないのでしょうか。
 〔回答〕委託することで受注・発送等の作業も迅速に行え、問題が起きた場合も業者が対応してくれそうです。

〔質問〕業務委託に4700万円もかけるのであれば、2人くらい専任職員を置いて、町に残る分が多くなるのではないのでしょうか。
 〔回答〕委託することで受注・発送等の作業も迅速に行え、問題が起きた場合も業者が対応してくれそうです。

ふるさと納税の返礼品

〔質問〕どういう物を返礼品として出していますか。
 〔回答〕カキ・ホタテやその加工品、シシギスキャン、お菓子の詰め合わせなど町の特産品です。

ふるさと納税 寄附金の使い道

〔質問〕いただいた寄附金はどのように使っていますか。
 〔回答〕寄附者の意向にもとづいて、観光振興や教育文化振興などの町の予算に充当しています。

町外へ運ぶ際に、利用者の負担が少なくなる方法を模索してほしいです。
 〔回答〕皆さんの負担を減らしていく何かしらの手立てを、考えていかなければならないと思います。

防災行政無線

〔質問〕防災行政無線の事業はどの程度のを予定して設計しているのですか。
 〔回答〕今年度から2ヶ年で約2億5千万円かけて、防災行政無線のデジタル化更新に合わせて、災害等の緊急時に全町民へ情報を伝達し、避難誘導や指示等を行うための戸別受信機を全世帯に設置するものです。

議員が欠員になったときの補欠選挙

〔質問〕議員が欠員した場合、選挙は行わないのですか。
 〔回答〕欠員が議員定数の6分の1(佐呂間町だと2名)を超えた場合に補欠選挙が行われます。

また町長選挙告示の10日前までに議員に欠員がある場合、町長選挙と同時に補欠選挙が行われます。

町職員の人件費

〔質問〕町職員の給与を調べると道内の中でも上位になっており、予算に対する人件費の割合が平成29年度決算では20%となっていますが、予算に対して人件費が20%を超えていたら町の運営などできないと思うのですが、どのように考えていますか。
 〔回答〕町職員は若年層が少なく高齢な職員が多いため、平均年齢が他の市町村よりも高く、平均給与が高くなっていることが原因だと思われます。

近年は職員の定年退職が増え、計画的に新卒職員の採用を行っていることから、今後平均年齢と平均給与は下がってくると思われます。

第5期総合計画

〔質問〕第5期総合計画の住民意向調査が配布されましたが、中身が第4期のものを刷り直して配布しているのしか思えないのですが。
 〔回答〕第4期をベースに新たに作成したと聞いています。



町職員同士の共働き

【質問】役場の職員同士が結婚した場合、どちらかを辞めさせる条例を作っている町村があると聞きました。

また共働きの場合、昇進などを制限する町村もあるようですが、町でも共働き職員が多いので、可能であれば条例を作ってほしいです。

【回答】町職員同士で結婚したらどちらかを辞めさせるようなことは、憲法や労働基準法などの法令に違反すると考えられ、国の法令に違反する条例は制定できません。

堤防・道路の整備

【質問】佐呂間別川の河川敷地や道々の縁の柳の木を伐採してもらいたいです。

また知来では堤防がきれいに整備されていますが、仁倉では一部しか刈り取ってくれないのはどうしてですか。

【回答】この件については北海道の管轄ですので、町の建設課から北海道へ要望するよう伝えておきます。

【質問】100kmマラソンの

すると遠軽高校への進学者が増えてしまうことから、佐呂間町に対して気を使ってくれているのではないかと考えています。

魅力ある高校

【質問】訓子府高校は給食の提供や、制服が他校と違うところに魅力があり、北見の中学生から進学したいと言われていますが、佐呂間高校での魅力のある取り組みはどのようなことが考えられますか。

【回答】以前、佐呂間高校の生徒・保護者に対して給食のアンケートを行ったところ、どちらもあり望んでいない意見のほうが多く、町長も議会の一般質問で高校に給食を提供する考えは今のところないと回答しています。

議会改革

【質問】議会にいろいろな職業の人が参加しやすくなると思います。議会を夜や休日などに開催したら、仕事を休んでいる人も参加しやすいのではないのでしょうか。議員のなり手不足は議員報酬を上げれば解決すると思います。

ときに道々の草刈りが行われていますが、秋までにもう1回、年2回行ってほしいです。

多面的機能支払交付金事業

【質問】多面的機能支払交付金事業は昨年度で終了したと聞いていたところ、今年度も若干予算が付いています。これはいつまで事業を行う予定ですか。

【回答】平成31年度から5年間延長され、実施期間は令和5年度までとなる予定です。

仁倉小学校の解体

【質問】仁倉小学校の校舎解体予定はないのですか。

【回答】考えてはいますが、いつまでかという予定はありません。

佐呂間高校の生徒減少対策

【質問】今年度は佐呂間高校への入学者が20人程度ですが、対策は考えていますか。

【回答】サンデー議会やナイター議会の開催などは検討課題です。議員のなり手について、子育て世代の方は今の報酬額では生活できないと思いますので、20代・30代の方は報酬額を上げるというのも一つの案だと思っています。

議員が町民の要望を聞く機会①

【意見】第5期総合計画の町民アンケートには町民の意見がたくさん書かれており、議員が見ていないのはもったいないです。議会活動に活かすことができると思います。

議員が町民の要望を聞く機会②

【要望】自分の住んでいる地区に議員がおらず、要望やお願いしたいことがあっても他の地区の議員のところには行きづらいので、議員には1ヶ月に1回くらい町内の各地区を回ったり、役場の議員の部屋で町民の声を聞く場を設けたりしていただきたいです。

【回答】高校存続は町にとっても重要なことであり、いろいろな課題に向け活動していきたいと考えています。

【質問】佐呂間高校にはやはりたい部活がないなどの問題があり、親は子供に行けとは言えませんが、具体的な取り組みは行われていない気がします。例えば保育所・小・中・高で連携を取るための議論をするなど、今の若い父兄の考えを取り入れて、対応を考えていくことも必要だと思いませんか。

【回答】中学と高校の間で連携を深める取り組みを始めていると思います。

町へ質問や意見を伝えていきたいと思っています。

パーマ市との交流事業

【質問】せっかくパーマ市との交流事業を実施しているのに、町から行く子供が少ないようですが、この事業をいつまで続けるのでしょうか。

またALTの先生がいるのに英会話ができる子供がいらないなど、それぞれ多額の町の予算を使っているのに、もう

クリニックさろま

【質問】平成30年度は1日平均65人の患者数で、1億円近い赤字が出ていますが、これはこのままでもいいのでしょうか。

【回答】平成30年度は平成27年度と比べると3千万円ほど赤字は減っています。

町でも各種健診に対して費用の一部を助成するなどして利用者の増加を図り、赤字解消の努力をしていきたいと考えています。

【質問】体調を崩した際に、北見の病院に行きたかったが予約が取れず、別の病院に行ったがよくならないので、クリニックで良かった北見の病院への紹介状をお願いしますが、紹介状は書けないと言われました。

【回答】クリニックで診察を受けた病状についてであれば、紹介状は書いてもらえるのではないのでしょうか。

お話では、別の病院を受診していた病状についてクリニックに紹介状をお願いしたため、書いてもらえなかったのではと思われそうです。

ちょっとがんばってほしいと思います。

町道の舗装

【質問】町道の舗装率はどの程度か、他の町村と比較してどうなのかわせてください。

【回答】舗装率は51.5%です。近隣の町の状況は、湧別町が51.7%、遠軽町が40.9%となっているそうです。

遠軽高校の通学助成

【質問】遠軽町では町外から遠軽高校に通う生徒に対して通学費用などを補助していますが、佐呂間町から通う場合は助成されませんか。

このことについて、遠軽町から町に何か連絡が来ているのでしょうか。

【回答】佐呂間町からの通学者が対象外になっている件について、はっきりとは聞いておりませんが、助成の対象に

町理事者へ報告書提出

町議会では議会活性化等特別委員会において、今回の懇談会の中でいただいた質問や意見をまとめた報告書を作成し、本年6月3日に町長など町理事者に対し報告書を提出、懇談の内容について説明を行いました。



町長に報告書を提出する但木委員長

議会ニュース

・総務福祉常任委員会現地調査

第1回臨時会

第1回臨時会が4月25日に開催され、議案3件、承認4件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

・審議した議案



子ども達の発達を促す支援を行っている「めるくる」

総務福祉常任委員会では、令和元年6月3日に町内4カ所の公共施設を現地調査しました。

障がい児通所支援施設「めるくる」

北海道の監督員詰め所あとを改修して、平成25年8月に遠軽の社会福祉法人・北光福祉会の運営で開所しました。発達に心配のある児童生徒達と一緒に宿題や遊びに取り組み、さまざまな経験を積むことで、健やかに成長するよう



有効活用が期待される漁村環境改善総合センター

富武土地区住民の集会施設として利用されている建物で、昭和54年の建設から40年たち、全体的に老朽化していますが、これまでの改修によりまだ十分に使用可能な施設となっています。

地域住民による有効活用を促進するため、本年7月1日付けで佐呂間漁業協同組合へ無償譲渡されます。



資源ごみを保管するストックヤード（写真は小型家電）

元は木材工場の倉庫でしたが、町に譲渡され平成15年から回収した資源ごみを一時的に保管するストックヤードとして使用しています。

回収された資源ごみはストックヤード内で種類ごとに分けて保管され、ここから湧別町にある遠軽地区広域組合のリサイクルセンターや、家電リサイクル業者へ運ばれていきます。



埋立できる限界が迫っている知来ゴミ処理場

昭和57年に整備しており、長年の使用で埋立できる限界が迫っていますが、現在遠軽地区3町で新たに共同の埋立処分場の整備を進めており、その完成までは使用できるよう、今後もゴミの減量化などに努める必要があります。

また「ゴミ処理場から出る汚水を処理する浸出液処理施設が近くにあり、こちらは「ゴミ処理場を使用しなくなっても、当分の間は稼働しなければならず、適切な維持管理が必要となっています。」

総務福祉常任委員会現地調査

漁村環境改善総合センター

若佐ストックヤード

知来ゴミ処理場

審議した議案

第1回臨時会 4月25日

その他

■工事請負契約の締結
次の契約が締結され工事が行われることとなりました。

- ◎西富団地外壁等改修工事
- ①契約の方法 指名競争入札
- ②契約金額 5940万円
- ③工期 令和元年9月20日迄
- ④契約の相手方 佐呂間町字宮前町176番地2 岸・阿部特定建設工事共同企業体
- 代表者 株式会社岸組
- 代表取締役 岸 良明

■財産の取得
若佐小学校及び浜佐呂間小学校の生徒用及び教師用のパーソナルコンピュータを購入しました。

①取得する財産及び数量
・児童用パソコン 17台
・校務用パソコン 16台他

②取得価格 2106万円

③納入期限 令和元年8月30日

④取得の方法 指名競争入札

⑤売買の相手方 佐呂間町字永代町52番地3 サウンド&ビデオ BABA 馬場 俊二

■公有水面埋立
次の区域の公有水面埋立について同意しました。

- ①漁港名 浜佐呂間漁港
- ②出願者 北海道知事 鈴木 直道
- ③埋立区域 浜佐呂間860番地、浜佐呂間861番地先の公有水面 98・36㎡
- ④埋立地の用途 漁港施設用地

■専決処分の承認
平成30年度一般会計補正予算（第13号）の専決処分について承認しました。

616万円が減額され、予算の総額が49億2894万円になりました。

【主な歳入】

- ・法人町民税 2155万円
- ・特別交付税 1億2241万円
- ・ふるさと応援事業寄附金 1294万円
- ・財政調整基金繰入金 1億4200万円

【主な歳出】

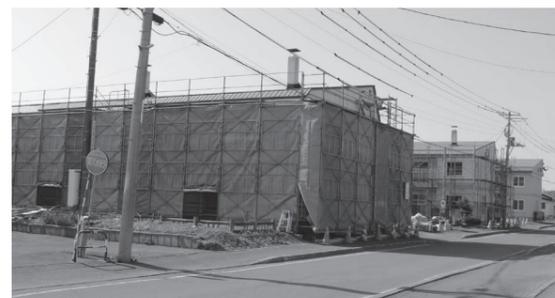
- ・ふるさと納税業務代行委託料 602万円

■専決処分の承認
平成30年度国民健康保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分について承認しました。

2737万円が減額され、予算の総額が8億3590万円になりました。

【主な歳入】

- ・保険給付費等交付金（普通交付金） 2818万円
- ・退職被保険者等療養給付費負担金 1756万円



今年度で全ての棟の改修が終了する西富団地

■専決処分の承認
平成30年度介護保険特別会計補正予算（第6号）の専決処分について承認しました。

予算の総額に増減はありませんでした。

■専決処分の承認
町税条例の一部を改正する専決処分について承認しました。

これは平成31年度の税制改正に關し、4月1日及び6月1日施行日とする町税条例の改正が必要となったためです。

議会ニュース

・議会の活動状況

■6月3日(月)
 ◎町理事者への議会懇談会結果報告
 ◎総務福祉常任委員会及び現地調査(※詳細は13ページ)
 ■6月4日(火)
 ◎産業文教常任委員会及び現地調査(※詳細は14ページ)
 ■6月5日(水)
 ・遠紋地区市町村議会議長会総会及び議長・副議長・事務局長合同研修会(湧別町)

令和元年6月

■7月11日(木)
 ◎町立診療所に関する特別委員会
 ◎議会活性化等特別委員会
 ■7月17日(水)
 ◎議会広報特別委員会
 ■7月22日(月)
 ・新任議員研修会(網走市)

令和元年7月

議会の活動状況

令和元年5月～7月

■7月24日(水)
 ・遠紋地区市町村議会議長会議員研修会(紋別市)
 ◎議会活性化等特別委員会

6月25日に札幌市で開催された北海道町村議会議員研修会に、本町から10名の議員が参加しました。
 研修会では、政治評論家の有馬晴海氏が「どうなる？今後の日本政治」との演題でこれからの国政や地方がどのようになっていくか講演され、続いて中央大学名誉教授の佐々木信夫氏が「地方は変わるか？議会はどうか変わるか、自治体をどう変えるか」との演題で、東京と地方の関係性や地方議会に求められていることについて講演されました。

全道議員研修会に参加

6月19日から7月2日にかけて、姉妹都市のアメリカ合衆国アラスカ州パーマ市から訪問団11名が来町しました。
 6月19日に役場を訪問された際には、議会の議場を見学されていました。

パーマ市訪問団来町



議場の理事者席で記念撮影



議会ニュース

・産業文教常任委員会現地調査

産業文教常任委員会現地調査

産業文教常任委員会では、令和元年6月4日に町内4カ所の公共施設などを現地調査しました。

町有林事業(中園)

昨年害虫が大量発生し、葉が枯れる被害が発生した町有林で、被害が拡大しないように害虫駆除のため伐採を行いました。
 伐採した木は内部に虫食いが見られないことから、木材として売り払われます。



伐採され丸太材として集積された町有林

浜佐呂間パークゴルフ場

平成10年に浜佐呂間農村公園の一部として整備された18ホールのパークゴルフ場で、近年の人口減少の影響から利用者は少なくなってきた。コースの芝は適切に管理されており、照明設備も設置されているなど利用環境は整っていることから、もっと多くの方に利用していただきたい施設です。



利用者の増加が望まれる浜佐呂間パークゴルフ場

浜佐呂間テニスコート

パークゴルフ場と同様に、平成10年に浜佐呂間農村公園の一部として整備されたテニスコートで、やはり人口減少の影響により利用者が少なくなっています。コートの中にはバスケットボールのゴールが1カ所設置されており、テニスだけでなく3オン3なども行えます。

また隣接するゲートボール場を廃止して駐車場に整備しており、浜佐呂間農村公園を利用しやすいように環境整備が行われていました。



パークゴルフ場に隣接する浜佐呂間テニスコート

浜佐呂間終末処理場

浜佐呂間地区の下水道を流れて集まった、し尿・生活排水などの浄化処理を行う施設です。

浜佐呂間地区での下水道の普及率は73%で、現在の汚水処理量は終末処理場の処理能力の40%程度と十分余裕がある状況ですが、建物は平成13年に整備され建設から19年が経過し、外壁などに老朽化が見え始めていることから、今後の適正な維持管理が求められます。



浜佐呂間終末処理場で施設管理者の説明を受ける

町で輝いている人たちを紹介します

「キッズダンス」

みんなの笑顔で まちを元気に! Vol. 22



私達は現在未就学児1名、小学生16名の計17名で、北見のライズスペーススタジオ・橋井サリ先生ご指導の元、元氣いっぱいヒップホップダンスに励んでいます！

活動内容は、北見市内で行われるイベント参加や年末に端野町公民館での発表会、そして4月には町民センターで北見のスタジオメンバーと合同の発表会を開催しており、本格的な照明や音響による発表会となっていますので、ぜひ一度見に来ていただくと嬉しいですよ。

その他町内ではカボチャ祭りや文化連盟主催の発表会など、さまざまなイベントに出演させていただいていますが、いつも町民の皆様から暖かい拍手やご声援をいただき本当にありがとうございます。

これからも皆様楽しんでいただけるように頑張ります！

■キッズダンス会員募集

一緒に踊ってくれる仲間を随時募集しています。見学だけでも大歓迎、お気軽に見に来てください。お待ちしております！

◎レッスン日 毎週火曜日

初級クラス 17時〜

中級クラス 18時〜

スペシャルクラス

19時〜

◎レッスン場所

町民センター

◎対象年齢

4歳〜



議会のついで

同期会

先日同期会があり、懐かしい顔ぶれと再会した。卒業してから50年が経つ。当時の面影を残しながらも頭が白色や肌色で、お腹は「ぽつり」という言葉がぴったりになり、(人のことは言えないが)時間は人(容姿)を変えてしまうのだとつくづく思いつつ、会場のそこかしこで「お前だね？」と笑いあっていた。

当時の事柄が次々と思い出され非常に懐かしかったが、寂しいことに病気や事故などで亡くなっている友人が、思った以上に多いことには驚いた。

笑いあり、寂しさありの集いが終わった。



佐藤 昭男

編	集
議会特別委員	広報委員会
委員	委員長 佐藤 昭男
委員	副委員長 三田 真美
委員	委員 小松 正義
委員	委員 土田 剛
委員	委員 山内 一弘

令和元年8月発行

発行 佐呂間町議会

〒093-0592 北海道常呂郡佐呂間町字永代町3番地の1

01587-2-1291 FAX 2-3368 (役場兼)